

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管局・部・課	都市整備局河川公園部公園管理課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 指定概要

指定管理施設	名 称	到津の森公園	施設類型	目的・機能
			①	⑤
	所 在 地	北九州市小倉北区上到津四丁目1番8号		
	設置目的	前身である到津遊園の閉園を受け、存続を求める多くの市民の熱意により、「市民と自然とを結ぶ『窓口』となる公園」という基本理念を掲げて設置。		
利用料金制の状況		非利用料金制 ・ <u>一部利用料金制</u> ・ 完全利用料金制		
指定管理者	名 称	公益財団法人北九州市どうぶつ公園協会		
	所 在 地	北九州市小倉北区上到津四丁目1番8号		
指定管理業務の内容		☐ 集客事業 ☐ 利用サービス事業 ☐ 市民支援事業 ☐ 動物飼育・展示施設等維持管理事業 ☐ 施設維持管理事業 ☐ 植物維持管理事業 ☐ その他（来園者管理等）		
指定期間		令和7年4月1日～令和10年3月31日		

【参考：評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準・目標・計画を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準・目標・計画を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

2 評価結果

評価項目	指定管理者 の自己評価	市（所管局） の評価	市（所管局）の評価理由 ※指定管理者の自己評価との 相違理由 など	配点	得点 (評価結果)
	(評価レベル：0～5)			(100点満点)	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				50	36
(1) 施設の設置目的の達成	3	3	利用者数は目標（38万人）に達しなかったが、要求水準（36万人）を満たし前年比でも増加。維持管理も適切。	35	21
(2) 利用者の満足度	5	5	アンケート満足度99%は極めて高く、熱中症対策やSNS活用による利便性向上への積極的な取組みが認められる。	15	15
2 効率性の向上等に関する取組み				30	26
(1) 経費の低減等	5	5	令和7年度から運送会社と連携して農家の規格外野菜を調達する取組を開始し、エサ代を削減するなど創意工夫が見られる。再委託管理や人員配置の適正化も図られている。	20	20
(2) 収入の増加	3	3	利用料金収入と自主事業収入が予算（目標）より下回ったが、SNSの活用による集客増や自主事業の再開により前年度比増収。自主事業収益を100%運営費に還元している。	10	6
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み				20	18
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況	5	5	特定期間の無休化や夜間開園などニーズに柔軟に対応。研修を通じた職員の資質向上にも意欲的に取り組んでいる。また、市民ボランティア「森の仲間たち」による動物のエサ切り等の活動や公式サポーターズクラブ「到津の森公園ちからの会」によるイベントの開催、その他企業、大学等との連携・協働によって、市民とともに歩む公園づくりを推進した。更には、障害のある子どもと保護者を閉園後の動物園に招待するイベント「ドリームナイトアットザズー」の開催などの社会貢献活動も高く評価できる。	10	10

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制 など	4	4	新たに策定した猛獣等脱出対応マニュアルを踏まえた訓練や鳥インフルエンザ対応シミュレーション訓練の実施など危機管理体制を強化した。施設の平等利用遵守や安全対策も適正である。	10	8
【参考：総合評価ランク】 A：優れていると認められる（80点以上） B：やや優れていると認められる（70点以上80点未満） C：適正であると認められる（60点以上70点未満） D：努力が必要であると認められる（50点以上60点未満） E：かなりの努力が必要であると認められる（50点未満）				合 計	100
				総合評価ランク（A～E）	80
					A

【総合評価】 ※指定管理者の特筆すべき功績及び努力を求める点等を踏まえ、総括的に記入してください。

本年度の管理運営は、全体として極めて良好であった。特筆すべき点として、利用者満足度が99%という非常に高い水準を維持していることが挙げられる。これは、SNSを活用したきめ細かな情報発信や、酷暑に対応したミストの設置やクールスポットマップの配布など、利用者の視点に立った運営の結果と言える。

また、物価高騰に伴う飼料代増に対し、ふるさと納税の仕組みを活用してコスト削減を図るなど、限られた予算内で効率性を高めるための創意工夫が随所に見られた。

今後の課題として、年間利用者数の目標達成に向けたさらなる集客策の展開が期待される。特に天候や気温の変化が来園数に大きく影響する屋外施設であるため、報告書にあるような「開園時間の柔軟な見直し」や他団体と連携したイベントの継続実施、より効果的なSNSの活用等により、目標達成に努められたい。

【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】

適正に評価されている。

利用者からのアンケートコメントについては、経費をかけずに改善できる内容もある。市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

<参考> 現指定期間中の評価結果

区 分	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	平 均
評価結果 (合計得点)	80	—	—	80

※高評価のインセンティブ（更新制）について

- ▶ 1～3年目の平均点が75点以上の指定管理者（指定期間5年間の事業者に限る）について、1期に限り指定の更新（+5年間）を認めるもの。

※低評価のペナルティ（次期選定時の減点）について

- ▶最終年度を除く全指定期間中の平均点が59点以下の指定管理者について、同指定管理施設の次期選定時の審査において減点（総合得点から10点または15点をマイナス）するもの。